

## 平成30年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・授業規律についてもここ数年で大きく改善され、指示通りの作業ができるようになってきた。
- ・加えて作業手順などの解説プリントを熟読して作業する生徒が増えたため、効率よく授業が進められるようになってきた。
- ・以上により致命的な失敗をする生徒は大きく減ってきた。

#### (2) 課題

- ・道具や材料を使いこなす経験についてはまだまだ不足してるようで、練習のそのまた練習の時間などを必要とする場面ものこっている。
- ・生徒同士お互いの作品を批評し合い鑑賞することについては、一月の展示発表などでの関心意欲は一層高まっており、前年度と比較して批評したり、より高度になってきた。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	意欲的に作品づくりをする生徒と、その習慣ができていない生徒との差が大きい。生徒作品に手を入れることも考慮。	/	/
第2学年	昨年同様彫刻刀の使い方についてはやや苦手の生徒が多い。プリントをうまく活用して解決する生徒も増えてきた。	授業における場面の変化に対応することに慣れていない生徒が多い。 (第1学年時)	/
第3学年	解説教材を有効に利用する生徒が増えたが、立体表現は難しいと感じている生徒も依然として数多い。	彫刻刀の準備片づけの手順まで比較的早く理解できた。使い方についてはやや苦手の生徒が多い。 (第2学年時)	授業における場面の変化に対応することに慣れていない生徒が多い。 (第1学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
創作活動や自己表現に関する興味関心は高いが、持続力が不十分である。	多くの生徒が等角投影図の仕組みを理解できており、計画的に作業できる。	定規の使い方等、用具を使い慣れていない生徒がいる。	教科書、資料集のどの作品が特に有名な作品なのか知らない生徒も多い。

② 第2学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
創作活動や自己表現に関する興味関心は高いが、完成に至る見通しが不十分。	木材という天然素材をどう活かして使うか工夫することが十分できない。	糸ノコの使用方法はおおむね満足できるが、彫刻刀にはまだ不慣れである。	世界の有名な美術作品についての知識や理解が深まってきた。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
多くの生徒が関心意欲共高く、前向きな姿勢である。	描きだしの段階で全体のバランスを考え構図を決めることが苦手な生徒もいる。	使い慣れない色画用紙についてはほぼコツを掴み作業できるようになった。	他生徒の作品についての眼も肥えてきて、的を得た批評をする生徒が出てきた。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	鑑賞
前年度同様、授業規律の「型」を身に付けさせる。	やや不十分なのが配色などの工夫で配色の実例集を作成。	より分かり易い図面を挿入するなど、解説プリントをさらに改良する。	複数教科で扱われている美術作品のリストを作成させる。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	鑑賞
おおむね現状で良い。	木目に逆らわない方向に刃物を使うなど作業手順を考えさせる。	解説プリントをさらに熟読させる。	生徒発表会の機会を利用して広く他人の作品を見、努力や工夫の原動力とさせる。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	鑑賞
現状で問題なし。	偏りのある構図の修正については個々の生徒ごとに合った方法をおしえる。	最難関の立体表現についての説明プリントを考案中。	現状で問題なし。